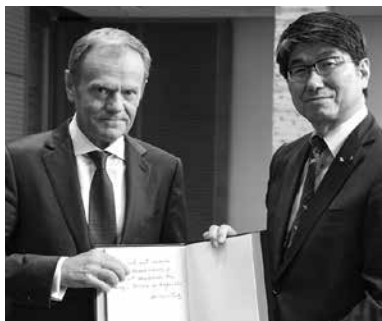


## 「核兵器の無い世界へ」欧州連合(EU)議長が長崎から発信



今回の訪問で深く心を動かされたと言ったトゥスク議長。原爆の悲劇を世界のリーダーたちに伝える意思を示しました

主要20カ国・地域(G20)首脳会議に合わせ来日した、欧州理事会議長のドナルド・トゥスク氏が、6月26日長崎市を訪れました。今回の訪問は広島市と長崎市の被爆地の訪問要請によって実現されたもので、現職の議長が市へ訪問するのは初めてのことです。

議長は原爆資料館を訪れ、展示物を立ち止まりながら熱心に視察するなど被爆の実相に触れました。その後、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館では、市長や佐藤正洋長崎市議会議長、長崎原爆被災者協議会の田中重光会長と懇談したあと芳名録に記帳。「長崎の

悲惨な教訓を記憶にとどめなければ、我々は人類として生き残れないだろう」と残しました。

原爆落下中心地では、献花し原爆犠牲者に黙とうを捧げた後、声明を発表。今回の訪問で、被爆の実相に触れて深く心を動かされたと言ったうえで、「核の脅威は未だに存在します。長崎が教えてくれることを無駄にしない。そのことに責任を負っているのは、世界の超大国のリーダーたちなのです」と核兵器のない未来への願いを世界に向けて発信しました。

■問い合わせ 平和推進課(☎844-9923)

## 新日見トンネル 2020年度の開通に向けて



混雑、事故の大幅な減少を目指します

6月22日、市中心部と東長崎地区をつなぐ国道34号(日見バイパス)の新日見トンネル(下り線)の貫通式を実施。「西の箱根」と称され、長崎街道きっての難所だったこの道は、明治15年に、当時画期的だった有料道路として開通された後も、時代の移り変わりとともに整備されてきました。

国道34号(日見バイパス)が完全4車線化になると、交通渋滞の緩和や交通安全につながり、より快適な生活が期待できます。

■問い合わせ 土木企画課(☎829-1415)

## 新しい時代の 伝習所を目指して



長崎から世界に貢献する学び舎をつくります

起業を目指すかたや社会人など、幅広い層を対象とした学びの場の創出を目指す、ギョウダ一般社団法人。6月21日、同法人と包括連携に関する協定を締結しました。協定書には、人材交流や地方創生などについてお互いに協力するといった内容が盛り込まれています。

藤村代表理事は「未来を自らの手で切り拓けるような、長崎から世界へ羽ばたく人材を育成したい。そして、その人たちの経験を長崎へ還元してほしい」と語りました。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

## 新しい副市長が就任



たけだとしあき 副市長

これまで培った幅広い分野での行政経験を生かして、人口減小など大きな転換期を迎えている長崎市の福祉や子育ての充実、財政の健全化などに全力を尽くします。市民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



たかみやましげお 副市長

国土交通省や長崎県に在籍して培った経験を生かして、大型公共施設の整備などを控える長崎市のまちづくりや経済活性化など、長崎の発展に全力で取り組みます。市民の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

7月20日付けで武田敏明前上下水道事業管理者、26日付けで高宮茂隆前国土交通省住宅局総務課証券化対策官兼国際室長が副市長に就任しました。

■問い合わせ 秘書課(☎829-1110)

## 長い間、お疲れさまでした

7月19日付けで三藤義文副市長、25日付けで加藤邦彦副市長が退任しました。



三藤義文 前副市長



加藤邦彦 前副市長

## 市役所の組織の一部を改正

市では、業務の効率性および戦略的な広報展開による情報発信機能の向上を図るため、8月1日付けで組織を改正。今後の大型事業および住宅施策の重要性を考慮し、より専門的かつ迅速に対応できる組織体制とすることなどを目的としています。

### ■組織の新設

- ・「秘書広報部」を新設し、秘書広報部に広報戦略室を新設。
- ・「建築部」を新設。

### ■組織の移管

- ・「秘書課」「広報広聴課」「東京事務所」を市長直属から、「国際課」を文化観光部から秘書広報部へ移管。
- ・「市民協働推進室」を企画財政部から、「文化振興課」を文化観光部から市民生活部へ移管。
- ・「世界遺産推進室」を企画財政部から文化観光部へ移管し、「世界遺産室」へ名称を変更。
- ・「住宅課」「建築課」「設備課」「建築指導課」をまちづくり部から建築部へ移管。

■問い合わせ 行政体制整備室(☎829-1124)

## 神浦・黒崎中学校 2校の歴史を引き継いで



新校舎で気持ちを新たに、勉強や部活動に励みます

今年4月に開校した外海中学校の開校記念式典を、6月30日に開催。生徒代表の言葉、新校歌斉唱、歌手の前川清さんから寄贈された記念品の展示などがあり、新たな門出を多くの人で祝いました。また式典後には、校歌を作詞した上奥まいこさん、作曲した伊藤心太郎さんによるミニコンサートも行われました。

校訓の「自主・協調・創造」を柱に、教育目標である「たくましくしなやかに あしたに拓く生徒の育成」を目指します。

■問い合わせ 学校教育課(☎829-1195)